

新論理国語 目次

I 部

この教科書で身につく言葉の力（観点別言語能力一覧）

導入 言葉は平等な内面を作り出す

橋爪大三郎 14

1 論点を整理するために

論点を明確にする
要旨を把握する
内容や構成・論理の展開を捉える
情報を整理し活用する

若者に友達プレッシャー

◎ 要約・要旨

辻大介 18

自分を捉え直す

◎ 言葉そのものを認識する

平野啓一郎 24

他者を理解する

◎ 私とは、他者とは

鷲田清一 32

情報を整理する

◆ 探究の視点 他者

黒崎政男 48

◆ 学びを深める 身体への〈疎外〉

47

それぞれの單元には、「読む」3本+「書く」1本の教材が配置されています。

2 正しく推論するために

主張を支える根拠を捉える
データを整理し書き手の意図を捉える
結論を導くための論拠を捉える
的確に伝える

一人で爆笑

◎ 論理的な文章を読み解く

飯間浩明 56

カタカナ語は享受すべきか

◎ 語彙を豊かにして表現力を磨く

川口良・角田史幸 64

世界のあり方

◎ 言葉・言語

野矢茂樹 72

文章をリフォームする

◆ 探究の視点 言葉・言語

77

◆ 学びを深める 言語は色眼鏡である

野元菊雄 82

3 事例の意味を探るために

主張を支える事例を吟味する
事例の役割と意味を捉える
書き手の思考過程を検証する
根拠を明確にして考えを述べる

それぞれのしつくりくる言葉

◎ 論理の組み立て

山崎ナオコ 90

多様な視点から考える

◎ ささまざまな文章！ 広告

前田健太郎 95

女性／男性だから

◎ 人権・ジェンダー

瀬地山角 102

意見を書く

◆ 探究の視点 ジェンダー

110

◆ 学びを深める そして若者論は続く

古市憲寿 117

「言葉」について真正面から考え、その後の国語学習の深まりを支える言葉の使い方をも身に付ける単元です。

第二部も、現代的課題をテーマとして学びを深めていきます。

Ⅱ部

7 具体と抽象の関係を理解するために

文章の信頼性と妥当性を吟味し内容を解釈する多様な論点を結びつける
必要な情報を関係づける
考えを相対化する

- 🎓 人類による環境への影響
◎ 具体と抽象
◎ この十年をどう生きるか
◎ 内容の整理
🔍 プラスチックごみについて考える
◎ 環境・科学技術
- 📖 説得力のある文章を書く
◆ 探究の視点 環境

丸山真男 268 267 261 260 258 257 249 248 238

6 隠れた前提を探するために

表現の仕方と書き手の意図との関係を捉えるさまざま視点から評価する
論拠を批判的に検討する
立場の異なる読み手を説得する

- 🎓 地球上の「旅人」
◎ 状況・背景
- 📖 誰かの靴を履いてみることに
◎ さまざまな文章3 企画書
📖 スポーツとナシヨナリズム
◎ グローバル化
- 📖 レビューを書く
◆ 探究の視点 グローバル化

岡真理 231 230 226 225 216 215 208 207 200

5 信頼性を吟味するために

情報を分析する
根拠や例示の適切さを確かめる
論理の構成を理解する
立場や論点を明確にする

- 🎓 情報の内容を吟味する
◎ 労働と若者
- 📖 なぜ私たちは労働するのか
◎ さまざまな文章2 報告書
- 📖 「すべり台社会」と「溜め」
◎ 図表と文章
- 📖 投書を書く
◆ 探究の視点 働くということ
コンクリートの時代

隈研吾 194 193 187 186 178 177 171 170 168

4 構成を吟味し説得力を高めるために

文章や論理の構成を捉える
書き手の意図を捉える
送り手の意図を捉え解釈を深める
論拠を吟味し伝えたいことを明確にする

- 🎓 落語の中の経済学
◎ 推論の仕方
- 📖 ホンモノのおカネの作り方
◎ 例示・事例
- 📖 「展示」が伝えるもの
◎ 経済
- 📖 レポートを書く
◆ 探究の視点 経済

糸井重里 161 160 153 152 142 141 133 132 124

「経済」そして「労働」をテーマとする二つの単元で、キャリア教育にもつながる学びを行えます。

8 批評するために

独自の発展をとげた日本のマンガの歴史や背景を、**文化・芸術の視点**から捉え直します。

- 批評する
- 批判的に検討する
- 書き手の立場や目的を考える
- 論理の明晰さを確かめる

🎓	〈自動車〉と〈映像〉の二十世紀	宇野常寛	286
📖	言語ゲームと哲学的態度	永井均	287
🔍	◎文化・芸術		
📖	日本マンガのブルーオーシャン戦略	中山淳雄	291
🔍	◎情報の効果的な示し方		
📖	報告文を書く	清岡卓行	301
🔍	◆探究の視点 文化・芸術		
🔍	学びを深める ミロのヴィーナス		

9 情報を関連づけ自分の解釈を形成するために

- 必要な情報を関係づける
- 考えを広げたり深めたりする
- 内容の解釈を深める
- 主張が的確に伝わるか吟味し修正する

🔍	学びとは何か	今井むつみ	316
🔍	◎比較		
📖	「知る」ということ	加藤周一	325
🔍	◎反論の想定		
📖	文系と理系の壁はあるか	最相葉月	334
🔍	◎知のあり方		
📖	自己推薦文を書く	村上陽一郎	340
🔍	◆探究の視点 知のあり方		
🔍	多様な知識の組み合わせを学ぶを深める		

社会に出ていく子どもたちに向け、高校で学んだことの意味、そしてこれからも学んでいくことの意義を、ともに考える単元です。

10 解釈を広げたり深めたりするために

- 考えを広げたり深めたりする
- 自分のか考えを捉え直す
- 新たな観点から自分の考えを深める
- 学習をいかして書く

🎓	科学には限界があるか	湯川秀樹	356
🔍	◎データや仮説の検討		
🔍	未来のありか	若林幹夫	362
🔍	◎接続の仕方		
📖	リスク社会論	大澤真幸	370
🔍	◎社会のあり方		
📖	卒業論文を書く		380
🔍	◆探究の視点 認識と実践		

「話し合いの方法」一覧
「思考の方法」一覧
「思考ツール」一覧

396 392 390

資料編

ブックガイド

54・88・122・166・198・236・278・314・354・388

『新』シリーズ教科書では身につける「言葉の力」ごとに単元を組んでおり、「何のために学習を行うか」が明確です。

領域		読む					読む					領域							
単元		10		9			8		7		6		5		単元				
言葉とは何かを考える力	身につけた言葉の力 言語活動	新たな観点から自分の考えを深める力 考えを再構成し新たな観点から主張を展開する活動		自分の考えを捉え直す力 筆者の考えと自分の考えとの共通点を探る活動			書き手の立場や目的を考える力 資料や図表の効果を検証し解釈を深める活動		多様な論点を結びつける力 書き手の思考過程を批判的に検討する活動		さまざまな視点から評価する力 経路的な事例を一般化する論証を理解する活動		根拠や例示の適切さを確かめる力 書き手の立場を推論する活動		情報分析する力 図表から理解・解釈したことを論じ合う活動				
		構造と内容の把握														構造と内容の把握			
		精査・解釈	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	精査・解釈		
		● 考えの形成	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	● 考えの形成		
		● 共有	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	● 共有		
		情報と情報との関係	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	情報と情報との関係		
情報の整理							●	●	●				●	●	● 情報の整理				
言葉は平等な内面を作り出す 橋爪大三郎	(学習) 素材	リスク社会論 大澤真幸	未来のありか 若林幹夫	科学には限界があるか 湯川秀樹	文系と理系の壁はあるか 最相葉月	「知る」ということ 加藤周一	学びとは何か 今井むつみ	この十年をどう生きるか 堅達京子	プラスチックごみについて 考える (自動車)と(映像)の二十世紀 宇野常寛	言語ゲームと哲学的態度 永井均	日本語ゲームと哲学的態度 永井均	日本マンガのブルーム 中山淳雄	人類による環境への影響 鷲谷いづみ	スポーツとナショナルリズム 阿部潔	地球上の「旅人」 ヤマザキマリ 誰かの靴を履いてみる ブレディみかこ	なぜ私たちは労働するのか 内田樹	「すべり台社会」と「溜め」 湯浅誠	情報の内容を吟味する なぜ私たちは労働するのか 内田樹	(学習) 素材
言葉とは、論理とは	単元の話題 (テーマ)	認識と実践				知のあり方		環境		グローバル化		働くということ			単元の話題 (テーマ)			学びを深める	
						多様な知識の 組み合わせを 村上陽一郎		ミロの ヴィーナス 清岡卓行		「(である)こと (と)すること」 丸山真男		「文化が違う」 とは何を意味 するのか? 岡真理		コンクリート の時代 隈研吾					

この教科書で学ぶために

教科書の構成

この教科書は、「入門」単元、書く・読む力をつける「1〜10」単元、さまざまな場面で活用するための「資料編」で構成されている。

基本の色分け

1〜6単元は緑、7〜10単元は青、「入門」単元は黄色、コラムはオレンジ色を基調として色分けをした。

教材の冒頭 各単元のテーマ、身につけたい国語の力、教材を用いて行う学習活動を示した。

自分の考えを書く	文章の構成や展開に着目して読む	筆者の主張に着目して読む	データや事例に着目して読む
学習活動 考えをまとめる 1 伝えたいことを明確にして、目的や意図に合った適切な語彙を収集しよう。 2 伝えたい情報を整理して、自分の考えを表現しよう。	学習活動 考えをまとめる 1 それは感情の表現というところであって他者の理解ではない…… 2 わかめ、理解するというのは、感情の一致、意見の一致を求めよう…… 3 「わかめがおいしいままに身をまかせよう」というプロローグは「わかめ」とは何……	学習活動 整理する 1 筆者が「入門」には、いくつもの書がある。――私たちは、まずどの書から…… 2 「本書の目的」という存在を、ここでは押さえてはならない…… 3 「分人はすべて、本書の目的である」とはいつまでか、……	学習活動 整理する 1 「友達レッシュ」とはどのようなことか、まとめよう。 2 同単元以外の多様な関係を取り結ぶ環境を整えていくにはどうするか……

教材の注欄（下段または脇段）

語注 ①②……主固有な名詞や難解な語句に解説をつけた。
発問（▼印） 教材理解の手がかりとなる箇所▼印をつけ、問いを示した。
語句（＊印） 主に慣用的な表現や熟語を取りあげて示した。
漢字 覚えておきたい漢字を取りあげ、関連する漢字とともに示した。
対義的な語（例 敏感 鈍感）
注 似た字形や同じ読みに注意する語（例 感慨 概算）
読み方 に注意する語（例 繁 読 繁茂）

学習活動の手引き

情報を整理するために 読む活動のための手引きを示した。

読みナビ

「学びを深める」を読むための手引きを示した。

学習活動の補充

探究の視点 単元のテーマに合わせた論題を紹介し簡単な解説を示した。
ブックガイド 単元ごとに「表現」「教材」「単元のテーマ」に関連する本を紹介した。

学びを深める

単元で身につけた力を深めるための文章を掲載した。

常用漢字

漢字は原則として「常用漢字表」の漢字を使用した。それ以外の漢字には振り仮名をつけた。

リンクマーク

教科書内で参照するページを示した。


眼二次元コード


学びを広げたり深めたりするための、適宜、二次元コードを付した。なお、二次元コードのページには、以下のURLからもアクセスできる。
<https://bdq.sanseido-publ.co.jp/05-shinoniri/contents>


単元扉では、教材一覧および中心となる学習内容を明示しています。


7 具体と抽象の関係を理解するために


文章の信頼性と妥当性を吟味し内容を解釈する
多様な論点を結びつける
必要な情報を関係づける
考えを相対化する

- 

人類による環境への影響 鷲谷いづみ
- 

この十年をどう生きるか 堅達京子
- 

プラスチックごみについて考える
- 

説得力のある文章を書く
- 

探究の視点 環境
学びを深める 「である」「ことと」「すること」 丸山眞男

関連ウェブページ・動画などの参照リンクにアクセスできます。

具体と抽象の
関係

文章の信頼性と妥当性を吟味し内容を解釈する

学習活動

- 1 筆者の考える「共生型戦略」(239・7)と「征服型戦略」(239・7)について、それぞれ整理しよう。
- 2 「人類は現在、……利用しているのだろうか」(245・12)とあるが、その利用状況について整理しよう。
- 3 「生態系の跳躍的变化によるカストロフを避ける」(247・4)ためにはどのようなことが必要だろうか、話し合おう。

人類による環境への影響

鷲谷いづみ

人類は化石人類の時代から、時代とともに環境への働きかけを強めてきたと推測される。ホモ・サピエンスが言語とともに征服型ともいえる対環境戦略を手に行うことにより、その働きかけに質的な変化をもたらされた。そして今日、ついにそれは地球の限界を超えるまでに強まり、大気組成の急速な変化や生物の大量絶滅の危険の高まりにもみられるような環境の急速な変化をもたらしている。

人類の影響の増大は、テクノロジーの発達による資源利用効率の向上に基づくヒト一

読後に取り組む活動を冒頭に示すことで、見通しをもって教材を読むことができます。

人あたりの環境へのインパクトの増大と、時代とともに加速された人口増加の両方の相乗的効果である。環境を変える作用は、ヒトの活動の量だけでなく、その質に大きく依存する。さらに、ヒトの働きかけと、それに対する環境の反作用は等差級数的な関係にあるのではなく、作用がある規模を超えると突如として異質な領域への飛躍が起こるようなダイナミックな関係である。その飛躍の行き着く先が著しい生態系の不健全化であるとすれば、人類の持続可能性は大きく損なわれることになる。

人類の対照的な二つの対環境戦略、「共生型戦略」と「征服型戦略」のいずれがより優勢であったかは、時代や場所によって異なっていたであろう。

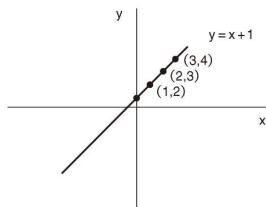
人類の歴史の大部分を占める狩猟採集経済の時代には、ヒトが環境へ及ぼすインパクトはおおむね、一時的、局所的なものであったであろう。しかし、その場所の生物生産性の大きさ、そこで生活した移住者の資源利用に関する習性、あるいは繰り返し訪れた気候変動などにより、環境との相互作用は時代や場所で大きく異なるものであったはずである。

農耕・牧畜の始まった新石器時代においても、森や水辺の豊かな自然に恵まれ、しか

① ホモ・サピエンス Homo sapiens (ラテン語) 動物分類上、現生人類の属する種の学名。ヒト。

② インパクト impact 英語 強い影響や印象。衝撃。

③ 等差級数 一定の差で並んでいる数字を積算して「 2^n 」。



④ ダイナミック dynamic (英語) 力強く、躍動感があるなど。

* 語句
相乗/局所

教材本文は、シンプルで読みやすいレイアウトになっています。

も共生型戦略に欠かせない資源の持続的利用の知恵を身につけたグループは、狩猟採集を営みながらもその場所の生態系と調和した定住生活を営むことができただろう。それとは対照的に、生産性の低い土地での生活を余儀なくされ、略奪的な資源利用の術すべにたよらざるをえなかったグループは、局所的に環境を荒廃させながら次々に新たな土地に侵入するような放浪生活を営まざるをえなかっただろう。その場合、グループ間の資源をめぐる競争も熾しり烈れつなものとなり、征服者としてあるいは敗残者として、人々をさらに移住へとかりたてたにちがいない。

二つの対照的な対環境戦略は、持続的な生物資源利用によって土地に根付いた生活を営む定着型と、自然資源を略奪的に利用し、時には他グループの資源を奪いながら次々に新天地へと進出していく植民型の戦略としても認識できそうである。すなわち、土地との結びつきという点からは、共生型戦略は定着型、征服型戦略は植民型と見ることができよう。

この二つの戦略の間では、人口一人当たりが環境にもたらすインパクトは大きく異なる。また、征服型戦略は環境を変えていくとともに、人類社会をも積極的に変えていく。これら二つの戦略がぶつかる場面では、当然の帰結として、征服型戦略は共生型戦略を

征服してその勢力を拡大していくことになるだろう。征服型が共生型を征服しながら席せき捲まいていくさまは、人類の歴史をひもとけば、さまざまな時代、さまざまな場所にその例を見いだすことができる。また、征服型どうしのぶつかり合いによる大きな破壊の事例もみることができよう。しかし、征服型戦略がいつまでも優勢であり続けることはできない。そのことが明瞭に意識されるようになったのは、二十世紀も後半になってからであった。

新石器時代、ステップで大型動物を狩りながら生活した人々の一部は、やがて農耕と牧畜にその活路を見いだすにあたって、生活の場としてなじんできたステップの生態系から主な栽培・飼育の対象として麦と牛を選んだ。農業、牧畜、植林など、生物資源生産の強力な技術を着実に発達させたそのグループは、自然の生態系を積極的にその目的に適かなう人工生態系へと変化させていった。人工生態系はその面積を指数関数的に拡大し、二十世紀にはその速度はいっそう加速した。

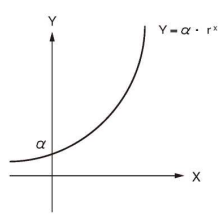
しかし、人工生態系は少数の種類の作物、家畜、材木及びヒトのいずれも高密度の個体群からなる単純な生態系であり、害虫の大発生や疫病の流行をもたらしやすい。この

▼ 図 どのような点で「対照的」なのか。

適宜、発問を置き、スムーズな読解につなげます。

▼ 図 「征服型戦略が……で きない」のはなぜか。

⑤ ステップ steppes 内陸部の半乾燥地帯にある草原。 ⑥ 指数関数 ここでは③等差級数と対照的な意味合いで、環境への作用が重なるにつれ、その影響や反作用が飛躍的に増大すること。



* 語句
熾烈／席捲

明瞭注 同僚

フラ整備に土地を利用している。また、エネルギーの利用にさいして発生する二酸化炭素を大気中に蓄積しないようにするとすれば、その吸収のために森林などの植生が生育する土地が必要である。アメリカ合衆国の環境経済学者ワッカーネゲルらの計算によれば、人類が必要としているこれらの土地面積を合計すると、その値はすでに地球の全表面積よりも大きいものとなっていることがわかる。すなわち、現在では、人類は地球を一個分以上使っている計算になるのである。もちろん、他の動植物が生きるための面積はこれとは別に必要となる。

人間活動による利用面積は、一九八〇年頃に実際の地球の面積を超え、一九九九年にはほぼ二〇パーセントの大幅赤字になった。生態学的赤字ともいべき事態となりながらも人類が生産活動を維持できているのは、地球の生命史の遺産ともいべき化石燃料にたよっているからである。逆にいえば、この赤字分は、化石燃料の利用に伴って放出された二酸化炭素が大気中に蓄積していくことを意味している。事実、大気中の二酸化炭素濃度は今でも急速な増加傾向を示しており、今日の濃度は、過去数十万年間の地球大気中の二酸化炭素濃度の変動範囲から大きくはずれた高い値となっている。温暖化との関係を否定し難い異常気象も目立ち始めているが、地球生態系が経験したことのないこ

⑬ ワッカーネゲル Wackernagel 一九六二年～。

の状態が、いつ何をもたらすのか、気候学者も生態学者もそれを明確に予測することはできない。明らかなのは、二酸化炭素濃度を減少させ、過去の経験に基づく予測が有効な範囲に少しでも近づけることなしに、まだ科学的に把握されていないなんらかの限界値を超えることで生じる生態系の跳躍的变化によるカタストロフを避けるのは難しいということである。

⑭ カタストロフ catastrophe 大変動。悲劇的な結末。

蓄積注 畜産



鷺谷いつみ わしたにいつみ

一九五〇（昭和二五）年～。科学者。東京都の生まれ。著書に「生物多様性」入門「さとやま 生物多様性と生態系模様」などがある。本文は『自然再生 持続可能な生態系のために』（二〇〇四年）によった。

⑤ 情報を整理するために

- 「共生型戦略」「征服型戦略」の特徴をまとめ、「カタストロフを避ける」（247・4）第三の方法を探ろう。

各文章教材には、内容理解の手引きとなる「情報を整理するために」を設定しています。

各単元とも、**テーマに基づく複数の教材**が配置されています。

読解するために

具
体
と
抽
象

「具体」とは事物がはっきりとした形や内容をもって
ることであり、「抽象」とはいくつかの事物から共通する
性質を抜き出すことである。論理的な文章では、事例とそ
れに対する筆者の考えや意見が、具体と抽象の関係になる。
論理的な文章を読む時には、具体から抽象を導く「つま
り」「要するに」などの表現や、抽象から具体を導く「例
えば」「～を例に」などの表現に着目して、両者の関係を
適切に捉えることが重要である。「人類による環境への影
響」の一節を例に具体的にみてみよう。

①また、生物資源の利用にさいして、過剰利用を避ける
ための伝統的な生態的知識ともいべき知恵やモラル
が活用されているのもその特徴である。(244・5)

10

②例えば、……がそれにあたる。(244・7・13)

・かつて、奥山や深い谷奥、水源の森など、自然の要
所所にはそこを司る神々がいて、人間活動に対し
て脆弱な場所に不用意に人為が加わらないように
睨みをかかせていたこと

15

・山開き、海開きという習わしにも残されているよう
に、自然資源の利用に関しては、利用の許される季
節を限定することで、再生を妨げるような資源利用
を防いでいたこと

・里山における柴や茅の利用は、利用してもよい刃物
の種類、牛馬や雇い人の利用の規制など、過剰利用
を避けるための入りの掟のつとって行われて
いたこと

5

ここでは、①で「生物資源の利用にさいして伝統的な生
態的知識が活用されている」という意見を先に述べ、続く
②で「例えば、……がそれにあたる」という表現を用いて
そのことを示す具体的な事例を導入しているが、論の展開
の仕方によっては先に三つの事例を示し、「つまり、生物
資源の利用にさいして伝統的な生態的知識が活用されてい
るのである」とまとめることもある。

10

ここで取りあげた表現などに着目しながら、具体と抽象
の関係を適切に捉えられるようにしよう。

15

「読む」教材の後に、「読解するために」「表
現するために」「テーマを深めるために」い
ずれかのコラムが配置されています。

具
体
と
抽
象
の
関
係

多様な論点を結びつける

学
習
活
動

- 1 「ギリギリの瀬戸際」(252・5)と言えるのはなぜか、まとめよう。
- 2 「パラダイムシフト」が「日本のチャンス」(254・2)になるのはなぜか、説明しよう。

この十年をどう生きるか

堅達京子

十年後の私と地球

今から十年後、あなたはどこで何をしているだろうか。

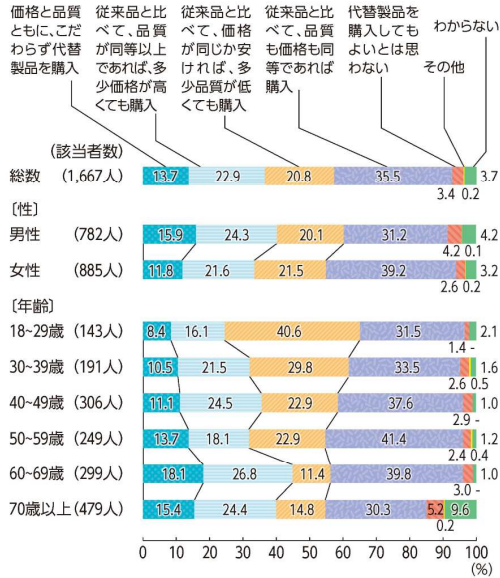
目を閉じて、十年後の自分と地球を想像してみる。人類が目標としているSDGsは達成されているだろうか。IPCCが警告していた、世界の平均気温が産業革命前に比べて「早ければ二〇三〇年にも、1.5度上昇する」という事態は、避けられているのだろうか。

5

- ① SDGs Sustainable Development Goals 二〇三〇年までに持続可能でよりよい世界を目指す国際目標。
- ② IPCC 「気候変動に関する政府間パネル」。国連環境計画と世界気象機関が共催し、各国政府が指名した専門家や行政官が参加する会合。

図やグラフから情報を読み取り、自分の意見を考える教材も用意しています。

！あなたは、ふだんの買い物の際、どのような条件が合えば、代替製品を購入してもよいと思えますか。また、このデータから読み取れることをまとめ、記述しよう。



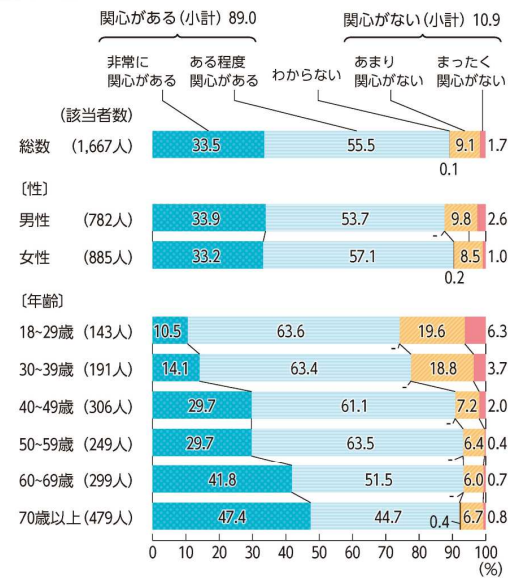
「代替製品の購入条件」
(内閣府「環境問題に関する世論調査」2019より)

「プラスチックごみ問題」の解決に向けては、プラスチック製の容器・包装・製品を、リサイクル製品や植物を原料とした植物由来プラスチック、微生物によって分解される性質をもつ生分解性プラスチック、紙などの素材を使用した、これらの代替製品へ転換していくことも重要だといわれている。その場合、代替製品は従来品と比べて、例えば耐久性が悪くなる、価格が高くなるなど、品質や価格などが変化することがある。

10

5

とめ、記述しよう。



「プラスチックごみ問題への関心度」
(内閣府「環境問題に関する世論調査」2019より)

！あなたは、プラスチックごみによる海の汚染などの「プラスチックごみ問題」に関心がありますか。また、このデータから読み取れることをまとめ、記述しよう。

プラスチックは、さまざまな製品だけでなく、レジ袋や包装容器などにも使われている。一方、再利用されない「プラスチックごみ」が、海洋を汚染したり、国内での廃棄処理の滞留を引き起こしたりするほか、焼却に伴う二酸化炭素の排出、化石資源の枯渇などの問題が生じている。

10

5



学習活動

1 「プラスチックごみ問題」に関するデータをもとに、自分の意見を表明しよう。

関係 具体と抽象の関係

必要な情報を関係づける

テーマを深めるために

環境・科学・技術

人間のさまざまな活動は、常に地球環境に負担をかけている。近代化と人口の増加は地球環境と人間のバランスを崩し、地球温暖化、大気汚染、環境破壊、都市化、資源保護、食糧不足、水不足などの問題を生んでいる。

例えば、地球温暖化は、地球の平均気温が上昇している現象で、海面上昇、砂漠化、洪水や干ばつなどの異常気象、生態系の変化、食糧危機などを引き起こすと考えられている。温暖化の主な原因は、二酸化炭素やメタンなどの温暖化ガスといわれている。産業革命以降の工業化、そして自動車や飛行機などによって化石燃料の使用が増え、二酸化炭素の排出量は増加する一方である。

この二百年のエネルギー消費量の爆発的増加と軌を一にして人口の増加も進み、さまざまな推計が地球環境存続の危機を示す中、二〇一五年に国連で「国連持続可能な開発サミット」が開催され、「持続可能な開発目標」(SDGs)が採択された。これは、二〇三〇年までに世界が達成すべき十七の目標を示したものである。その中には、**気候**

変動やクリーンエネルギーについての項目も含まれている。これらの問題の解決なしに百年後の人類の幸福を構想することは難しく、私たちの文明は岐路に立っているという声も多い。

語句の解説

気候変動 長い年月の間に気候が変動することを指すが、地球温暖化とはほぼ同じ意味で使われることもある。二〇一五年の気候変動枠組条約締約国会議(COP21)で締結された「パリ協定」は、一九九七年の京都議定書以来となる気候変動に関する国際的枠組みである。加盟国全てが参加する枠組みとしては世界初で、平均気温の上昇を産業革命前と比較して2度以内に抑えるなどの目標を定めている。

クリーンエネルギー 温室効果ガスを排出しないエネルギーのことをいう。具体的には、太陽光発電、風力発電、水力発電、地熱発電、バイオマス発電などがあげられる。水素ガスや原子力発電を含める考えもあるが、温室効果ガスや放射能が発生する問題がある。日本はエネルギー自給率が低く、安定したエネルギー源の確保のためにもクリーンエネルギーの開発が重要である。

各単元の「書く」教材は、「読む」教材で学んだ**国語の力**を踏まえた内容になっています。

具体と抽象の関係

考えを相対化する

学習活動

- 1 多面的・多角的な視点から文章を見直そう。
- 2 想定した反論をふまえ、より説得力のある文章に書き換えていこう。

① 説得力のある文章を書こう

文章を書く時には、読み手からどのような反論がされそうか、予想することが重要である。そして、想定したような反論がされないよう、文章の内容や構成を吟味することが、文章の説得力を高めることにつながる。

意見をさまざまな観点から検討・吟味し、容易に反論されない、説得力のある文章を書こう。

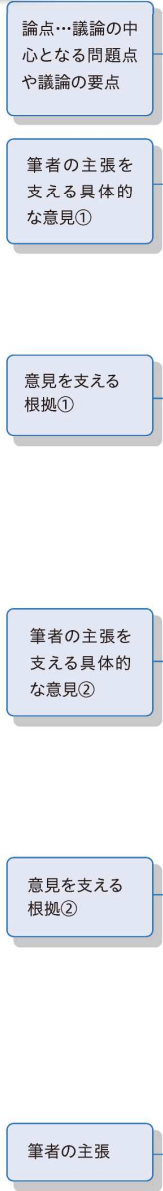
段階を追って無理なく学習活動に取り組めるよう、内容を構成しています。

❗ 多面的・多角的な視点から文章を見直そう
 ① 次の文章を読んで、論点・意見・根拠・主張を整理する。

どうすれば地球温暖化を食い止められるのだろうか。
 まず、全ての発電を自然エネルギー由来の方法に切り替えるべきだ。自然エネルギーによる発電には、風力発電・地熱発電・太陽光発電などが挙げられる。これらは、発電時に地球温暖化の原因となる二酸化炭素を排出しないため、環境に非常にやさしい発電方法だ。また、自然エネルギーは、再生可能エネルギーとも呼ばれ、一度利用しても枯渇することなく繰り返し利用できる。資源に限りのある化石燃料とは異なり、とてもエコなエネルギー源だ。現在、世界的に主流となっているのは、化石燃料を燃やして電気を作る火力発電だが、それを全て廃止し、風力発電や太陽光発電に切り替える。そうすることで、世界的に二酸化炭素排出量を大幅に減らすことができるはずだ。

次に、交通手段はできるだけ鉄道に限り、飛行機や車を使用しないようにするべきだ。ある調査によると、人間一人を1km 運ぶのに、鉄道に比べて、バスは3倍、飛行機は5倍、車は7倍の二酸化炭素を排出するそうだ。実際、スウェーデンの環境活動家グレタ・トゥーンベリさんは、スイスのダボスで開かれた会議に出席したときには、スウェーデンから鉄道で32時間かけて現地に到着したし、ニューヨークで開かれた国連の環境会議に出席した際には、ヨットで2週間かけてアメリカに渡った。このような工夫を全世界の人々がしていくようになれば、地球全体の二酸化炭素排出量が減らせるはずだ。

このように、私たちがエコでクリーンな生活を心がけることで、地球温暖化は解決できると考える。



② 反論を想定する。

①の文章を次のような視点で読み直し、あてはまることを書き出そう。

- 筆者の主張に問題点はないか？
- 筆者の意見に問題点はないか？
- 意見を支える根拠に誤解や不足はないか？
- 別のデータ（根拠）があったら、成り立たない意見はないか？

①の文章に書かれていることのうち、次のどの部分を中心に反論していくべきだろうか。話し合ってみよう。

- 意見
- 根拠
- 根拠から意見を導き出す過程

また、以下の資料1・2から読み取れることをふまえると、冒頭の文章にどのようなことが指摘できるだろうか、メモしよう。

種類	動力源
蒸気機関車	石炭
ディーゼル機関車	軽油
電気機関車	電気

資料1 動力源別鉄道分類



資料2 世界の電源別発電電力量 (2018年)

具体例・モデル例などを交え、学習活動の方法・手順を丁寧に解説します。

❗ 想定した反論をふまえ、より説得力のある文章に書き換えよう

冒頭の文章の筆者は、反論を想定して文章を書き直すことにした。次の書き換え案の中から、最も適切だと考えられるものはどれだろうか。根拠とともに交流しよう。
また、想定した反論にさらに反論(再反論)することはできるか、などについても考えてみよう。

「現在稼働中の火力発電所を廃止し、それを風力発電や太陽光発電に切り替えるとなると、莫大な予算が必要となるはずであり、実現は不可能である」という反論を想定して、

「世界各国の国家予算規模ランキングの少なくとも上位二十か国の国家予算は十八兆円以上である」というデータを示し、

「多くの国々が十八兆円以上もの大金を用意できる状況にあり、発電方法を切り替えるための予算を計上する程度、大した問題ではない」という意見を追加する。



「人々が必要とするだけの電力を、自然エネルギー由来の発電で全面的にまかなうことは、電力の安定供給の面から見て不可能である」という反論を想定して、

「発電量に占める自然エネルギーの割合が、デンマークでは七九%、カナダでは六六%である」というデータを示し、

「一〇〇%すぐに切り替えるというわけにはいかないかもしれないが、すでに高い割合で自然エネルギー由来の発電を行っている国がある以上、不可能ではない」という意見を追加する。

「世界には道路すらまともに整備されていない地域がある中で、交通手段を鉄道に限ることは不可能である」という反論を想定して、

「チベットの聖地を目指す巡礼者たちは何年もかけて広大なヒマラヤの地を徒歩で行く」という具体例を示し、

「大切なのは、そこに何としても行きたいという気持ちであり、たとえ多少不便であっても、また仮に鉄道がなくても、徒歩で向かうという選択肢もあるため、飛行機や車の不利用は実現可能である」という意見を追加する。



「交通手段として飛行機や車を使わないことの具体例にグレタさんの例をあげているが、あまりに特殊な例であって、説得力に欠ける」という反論を想定して、

「グレタさんの行動後、スウェーデンなどでは飛行機を使うことを恥じる『飛び恥』という言葉が生まれた」という具体例を示し、

「グレタさんは一人の少女だが、多くの人に影響を及ぼしているという点で、決して特別な存在ではなく、世界的に一般的な存在となっている」という意見を追加する。

❗ 学習を振り返ろう

反論を想定することで主張が多面的になったか、確かめよう。



単元ごとに、テーマごとの具体例な論点や課題への取り組み方を提示する「探究の視点」を配置しています。

探究の視点

環境

科学技術の発展によって人間の生活は、以前と比して格段に便利になった。その一方で、科学技術の負の側面によって、大気や海洋の汚染、地球温暖化などの環境問題が生じている。地球の環境問題は、人類の生活と直結しているだけに早急な対策が求められている。また環境問題は一つの国だけでは解決できず、地球全体で取り組む必要がある問題でもある。環境問題について以下の研究課題に取り組んでみよう。

研究課題

▶ プラスチックごみ問題の解決のためには？

世界では年間約 800 万トン（ジャンボジェットで 5 万機ほどの重さ）ものプラスチックが、ごみとして海に流れ込んでいるとも推計されている。プラスチックは食物連鎖を通じて私たちの体内にも蓄積しているのではないかと懸念されている。プラスチックごみの問題を解決するためにはどうしたらよいだろうか。調査し発表してみよう。

▶ 地球温暖化を阻止するためには？

地球温暖化とは、人間の活動が活発になるにつれて、大気中に含まれる二酸化炭素等の「温室効果ガス」が大気中に放出され、地球全体の平均気温が上昇していく現象のことである。この温暖化は、地球の環境に大きな影響を与えていると考えられる。地球温暖化を阻止するために必要なのは、どのようなことだろうか。説明してみよう。

考えるためのプロセス

- 授業で学んだことを活用しながら、自分なりの意見を形成する。
- テーマに関わる社会のさまざまな人の考えについて、友達の意見だけでなく図書館やインターネットなども使って調査し、まとめる。
- 自分の考え方と他の人の考え方とを見直して、違いを整理する。

振り返る

思考力、判断力、表現力

読む

● 「人類による環境への影響」「この十年をどう生きるか」における《環境》についてのそれぞれの考えを整理し、共通点や相違点をまとめてみよう。

書く

● 「人類による環境への影響」「この十年をどう生きるか」を「反論できそうところはないか」という観点から読み、実際に反論を書いてみよう。

単元ごとに振り返り項目を明示。観点を分けて提示しているので、そのまま観点別評価につながられます。

知識・技能

● 「人類による環境への影響」「この十年をどう生きるか」において、どのように具体と抽象を往還して論が展開されているか、整理してみよう。

● 「プラスチックごみについて考える」のデータからは、どのような具体的な情報が読み取れるか、また、どのような抽象的な意見が導き出せるか、それぞれ整理してみよう。

学びに向かう力、人間性

● 「人類による環境への影響」「この十年をどう生きるか」「プラスチックごみについて考える」の中から、最も心に残ったもの、あるいは最も考えさせられたものを取りあげ、その理由を説明しよう。

「探究の視点」(267ページ)、「学びを深める」(268ページ)を活用してみよう。



学びを深める

「である」「ある」「する」「し」

丸山真男
まるやままを

「権利の上に眠る者」

① 学生時代に末弘厳太郎先生から民法の講義を聴いたとき「時効」という制度について次のように説明されたのを覚えています。金を借りて催促されないのいいことにして、ネコババをきめこむ不心得者が得をして、気の弱い善人の貸し手が結局損をするという結果になるのはずいぶん不人情な話のように思われるけれども、この規定の根柢には、権利の上に長く眠っている者は民法の保護に値しないという趣旨も含まれている、というお話だったので。この説明に私はなるほどと思うと同時に「権利の上に眠る者」という言葉が妙に強く印象に残りました。今考えてみると、請求する行為に

10

よって時効を中断しない限り、単に自分は債権者であるという位置に安住していると、ついには債権を喪失するというロジックの中には、一民法の法理にとどまらないきわめて重大な意味が潜んでいるように思われます。

例えば、日本国憲法の第十二条を開いてみましょう。そこには「この憲法が国民に保障する自由及び権利は、国民の不断の努力によってこれを保持しなければならない」と記されています。この規定は基本的人権が「人類の多年にわたる自由獲得の努力の成果」であるという憲法第九十七条の宣言と対応しておりまして、自由獲得の歴史的なプロセスを、いわば将来に向かって投射したものだといえるのですが、そこに先ほどの「時効」についてみたものと、著しく共通する精神を読み取れることは、それほど無理でも困難でもないでしょう。つまり、この憲法の規定を若干読み換えてみますと、「国民はいまや主権者となった、しかし主権者であることに安住して、その権利の行使を怠っていると、ある朝目覚めてみると、もはや主権者でなくなっているといった事態が起こるぞ」という警告になっているわけなのです。これは大げさな威嚇でもなければ空疎な説教でもありません。それこそナ

15

単元の学習に関連した少し長めの文章を、「学びを深める」として掲載しています。

ポレオン三世のクーデターからヒットラーの権力掌握に至るまで、最近百年の西欧民主主義の血塗られた道程が指し示している歴史的教訓にほかならないのです。

アメリカのある社会学者が「自由を祝福することはやさしい。それに比べて自由を擁護することは困難である。しかし自由を擁護することに比べて、自由を市民が日々行使することとはさらに困難である。」と述べておられますが、ここにも基本的な発想があるのです。私たちの社会が自由だ自由だ

5

と述べて、自由であることを祝福している間に、いつのまにかその自由の実質はカラっぽになっていないとも限らない。自由は、置き物のようにそこにあるのではなく、現実の行使によってだけ守られる、言い換えれば日々自由になろうとする。ことによって、初めて自由でありうるということなのです。その意味では近代社会の自由とか権利とかいうものは、どうやら生活の惰性を好む者、毎日の生活さえなんとか安全に過ごせたら、物事の判断などはひとにあずけてもいいと思っ

15

てはまる。つまり自由と同じように民主主義も、不断の民主化によって辛うじて民主主義でありうるような、そうした性格を本質的にもっています。民主主義的思考とは、定義や結論よりもプロセスを重視することだといわれることの、最も

15

コラムでは、**実社会**に出た後も活用できる基本的な国語のスキルに関する内容も紹介しています。

表現するために

さまざまな文章 2
報告書

文章には、小論文などのように形式や構成が書き手にゆだねられているものもあるが、決まった書き方（書式）が要求されるものもある。書式の決まった文章は、その形式や構成のつとって書かれることで、読み手が速やかに文章の内容を確認できるようになっている。そのため、書き手は、書式によって定められた内容や項目を満たしながら書く必要がある。

以下に示すのは、報告書の例である。①（発信年月日）、②（提出先）、③（報告者の所属・氏名）、④（タイトル）、⑤（本文）、⑥（結び）と、決められた項目にそって、必要な事柄を記述するようになっている。

報告書の本文にもさまざまな書式があるが、ここでは「報告事項」の内容を裏づけるものとして、「添付資料」の項目が設定されていることに注目したい。なぜなら、報告書では書式にそって報告の概要が示されるため、その報告に至った根拠が必要になるからである。したがって書き手

15

10

5

は、視察で得た情報をさまざまな観点から整理し、報告事項を裏づけるような資料を提供することが求められる。

課題 次の出張報告書に添付する「ベトナムの5カ所の工業団地の比較資料」にはどのようなものが必要か、書き出してみよう。

5

① 20XX年5月10日

② 佐藤弘子営業第1課長

④ 出張報告書

⑤ 標題の件につき、下記のとおり報告いたします。

記

出張期間 20XX年4月5日～15日

出張先 ベトナム社会主義共和国 ハノイ市・ホーチミン市

活動内容 新しい現地生産拠点の候補地として5カ所の工業団地を視察した。

報告事項 立地条件や利用条件などを勘案した結果、ロンドック工業団地が最も優れていると判断した。詳細は別添の資料を参照のこと。

添付資料 ベトナムの5カ所の工業団地の比較資料

⑥ 以上

ブックガイド

表現

にかかわる本

『実践自分で調べる技術』

宮内泰介／上田昌文

本やインターネットでの検索、フィールドワーク、インタビューなどで集めた情報を縦横無尽に組み合わせ、調査する手法について、具体的に解説する。

『ロンリ』の授業

NHK

『ロンリのちから』制作班／野矢茂樹監修
根拠や推測、因果関係の確かめ方や、異なる意見の尊重の仕方などをやさしく解説。日常生活にも応用できる「論理の力」がたちまち身につく。

『ファシリテーション・グラフィック』

堀公俊／加藤彰

「議論を見える化」して話し合いの内容をわかりやすく示すための、ホワイトボードや模造紙に文字や図形などを使ったさまざまな技法を紹介。

教材

にかかわる本

『自然再生』

鷲谷いづみ

「征服型戦略」の破綻の結果として限界を超えた地球生態系。著者は、あらゆる知恵と知識を動員し、「積極的共生型戦略」に未来を託すことを提唱する。

『脱プラスチックへの挑戦』

堅達京子＋NHK BS1スペシャル取材班

日本でもレジ袋の廃止が進むなど加速する「脱プラスチック」。その目的や理由、そして目指すべき未来について、国際的な視点からの提言。

『武器としての図で考える習慣』

平井孝志

ビジネスの最前線で二十年考え続けてきた著者が、言葉に加えて図を組み合わせることで、誰でもできる「深く考える」方法を体系化。

単元のテーマ

にかかわる本

『日本の思想』

丸山真男

一九六〇年代初頭に刊行された丸山真男の論文・講演集。「組織体のタコツボ化」など、現代にも通じる日本人の思考を分析している。

『海洋プラスチック』

保坂直紀

プラスチックごみによる被害が世界中で報告される中、この問題を追い続けるサイエンスライターが現状と有効な対策を検証する。

『人新世の「資本論」』

齋藤幸平

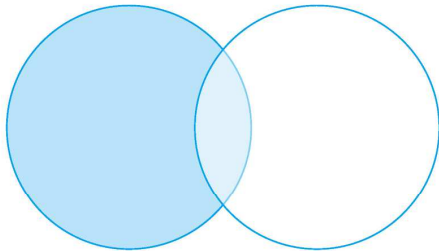
人類の経済活動が地球を破壊する「人新世」の時代。晩年のマルクスの思想に気候変動を阻止するヒントを求めた、温故知新の書。

各単元の関連図書を、「表現」「教材」「テーマ」に分けて紹介します。

資料編では、「話し合いの方法」一覧や「思考ツール」一覧など、随時参照できる情報を掲載しています。

使う場面 比較・分類

使い方 複数の事実や考え、意見などをそれぞれ円の中に書き、共通点がある場合は円を部分的に重ねる。情報の共通点、相違点の両方をリストアップして整理する時に使う。



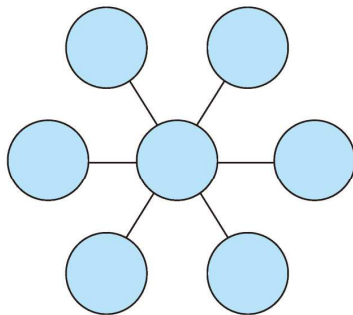
思考ツール



ベン図

使う場面 アイデア出し・発想の拡張・関係づけ・関連づけ

使い方 中心に考えたい事柄を書き、関連したり連想したりする事柄をつながげながら範囲を広げる。幅広く多様なアイデアを出したい時に使う。



思考ツール



イメージマップ

「思考ツール」一覧

「思考ツール」は、集めた情報を目的などに応じて比較、分類、関係づけなどをして、整理する時に役立ちます。情報を、目で見てわかりやすく整理することで、考えるための有効な材料として活用しましょう。

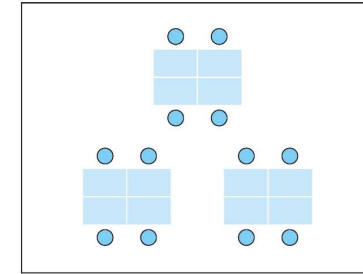
資料編 | 396

【グループディスカッション】

あるテーマについて、異なる立場や考え方の人たちが少人数で意見交換をし、結論を一つにまとめたり、考えを広げたりする話し合い。グループごとに司会や記録などの役割を分担することで、効果的な話し合いになる。

手順

- ① テーマを決める。
- ② 少人数のグループに分かれる。
- ③ グループごとにディスカッションを始め、それぞれの立場から意見を述べる。
- ④ テーマについて、グループとしてのまとめをする。

**他の方法** ペアトーク

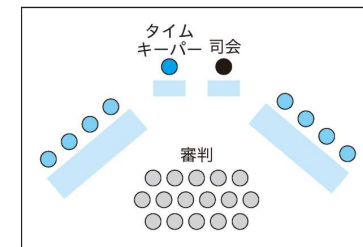
短時間で行うことができる二人組での話し合い。同じ意見を確認し合ったり、異なる立場からの考えに気づいたりすることができる。

【ディベート】

二項対立的なテーマに対して、二つの異なる立場を設定し、時間制限などのルールにしたがって行う討論。

手順

- ① 肯定側・否定側の二つのチームと、司会・審判などに分かれる。
- ② チームの立論の根拠となる情報を整理する。
- ③ 両チームの代表者が立論を述べる。
- ④ 相手チームに対する質問や反論を述べる。
- ⑤ 両チームが意見を述べる（最終弁論）。
- ⑥ 審判が判定をする。

**〈二項対立のテーマ例〉**

- ◆ 日本はサマータイム制を導入すべきである。
- ◆ 救急車の利用を有料化すべきである。
- ◆ 高等学校まで義務教育にすべきである。

話し合いの方法

話し合いにはさまざまな形式があります。アイデアを出し合う場合、全員で何かを決定する場合など、目的や参加する人数に応じて使い分けましょう。

資料編 | 390